

奥武蔵名栗 有間川龍神淵 ボルダ―

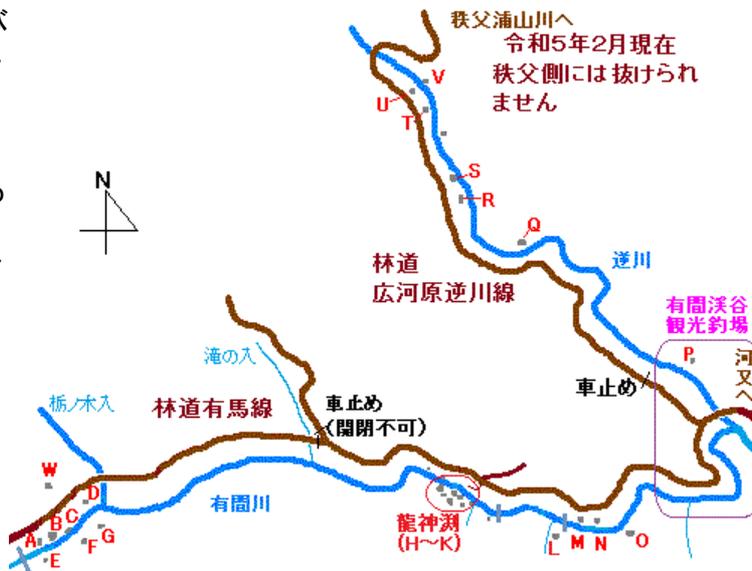
令和5年3月12日 RCT/K

3か月ぶりに長野の実家から戻り、現在怪我の影響で体調は不完全ではあるが、埼玉県飯能市名栗地区有間ダム奥の有間川上流部に散在するボルダ―へ1月末から数回リハビリクライミングに出かけた。まだまだ脚に力が入らず、昔登れた課題も今は登れないものも多い状態ではあるが、自然の中で岩に触れることができるのは何にも替えがたく楽しいものである。

この有間川周辺は昔トライしたボルダ―が多数あるが、その後2019年の土石流災害で多くのボルダ―が壊滅的被害を受け消滅及びトライ不可能になってしまった。しかし幸いなることに、この龍神淵については、大きな被害を被ることなく現在まだ利用できる状態にあるのは嬉しい限りである

岩質はチャート、大きさは大小様々で下地はほどほどに良いが、ランディング側に岩があったりするのでクラッシュパッドは持参したい。

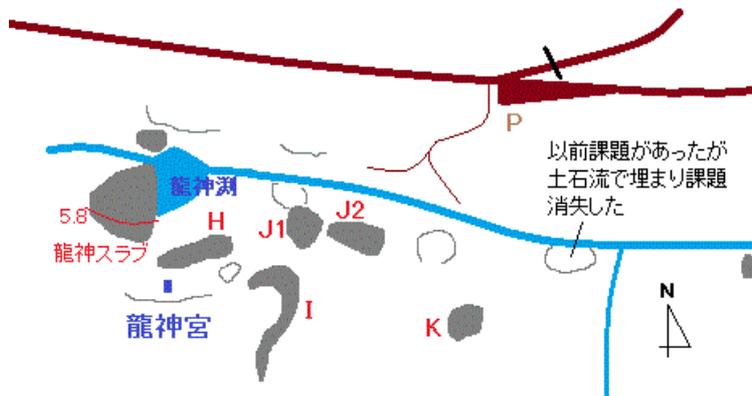
アクセスは飯能市名栗河又から有間ダム方面に入り、観光釣り場から有馬林道に入る。釣場上に車止めがあるが開けて滝の入林道入口までは入ることができる。アプローチは龍神淵の駐車スペースから川に下ればボルダ―は目の前で飛び石伝いに対岸に渡る。



《課題紹介》

●龍神スラブ

龍神淵の左の大きなスラブを初見フリーソロで登った。グレードは5.8程度。淵の際からスタートだが、上部で落ちると淵の中に水中ダイブの可能性あり。

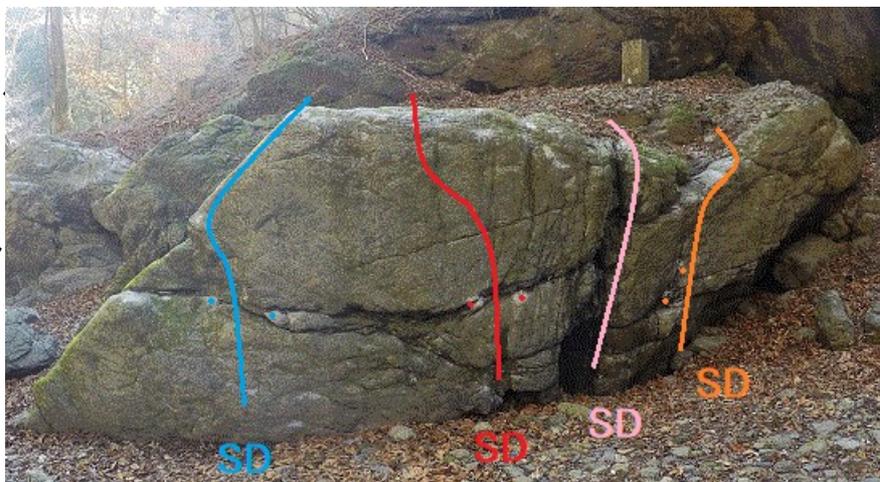


●H岩 (龍神宮下ボルダ―)

横長の背の低いボルダ―でSD課題が幾つかある。

易しいラインばかりだが、赤ラインがムーヴ的には面白く、アンダーから最後はマントリング。

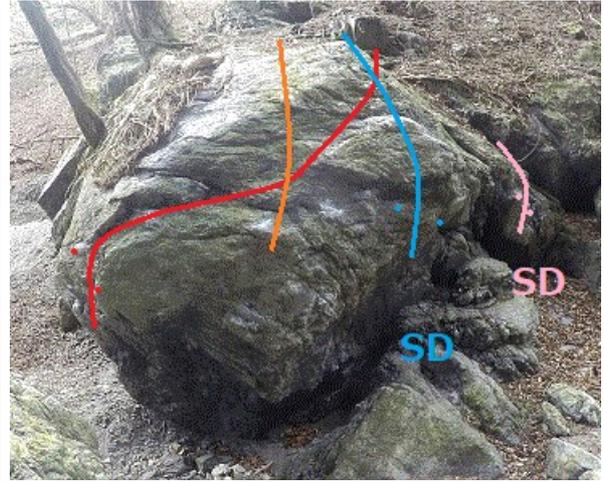
力あるボルダラーなら、青と赤ラインの間のフェイスも登れそう。



●I岩 トポ左:東面 右:北面

北面と東面あり北面がハングしており面白い。

北面のハング部分の赤とオレンジライン付近は近年他者によりトライさ

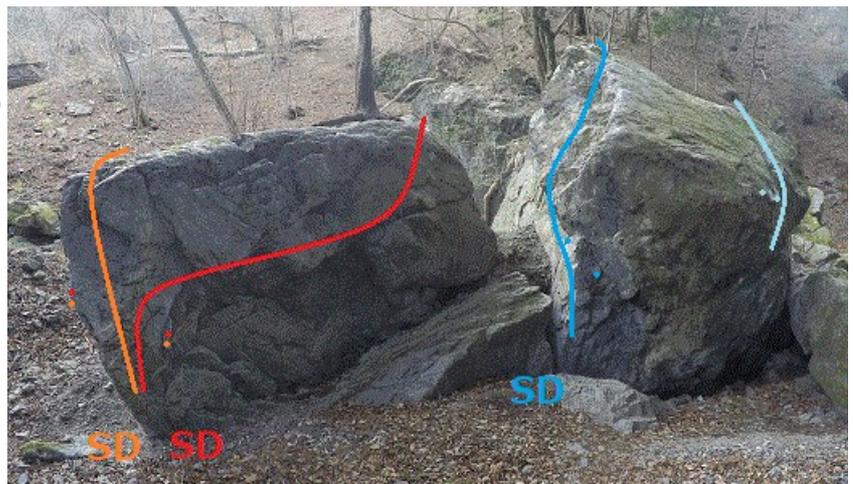


れたのか、幾つかのホールドは磨かれたような雰囲気があるので、難しい課題が設定されている可能性あり。

東面は昔の課題(青)をトライした際、ホールドがぼろぼろと取れてしまうので浮石を落としたら、ゴソッと大きく落ちてしまい良いホールドが無くなってしまった。クラックを掃除し再トライして漸く何とか解決した。

●J1岩(トポ中の右の岩:2つ並んだ上流側のちょっと高さのある岩)

青と水色の2本は昔登った課題で、今回青ラインのSDスタートを追加したが良い足がなく上のピンチのガバを取るまでが窮屈で登りにくい。



●J2岩(トポ中の左の岩:2つ並んだ下流側の横長で背の低い岩)

トラヴァース課題(赤)は出だしで立ちこんだら、右手をアンダーにデッド。後のトラヴァースは易しい。

カンテ課題(オレンジ)は、左手をカンテからリップに飛ばす。

●K岩

見た目はまさに川原のボルダーらしく、あまり良いホールドが見当たらない。

黄色と青の2課題はスタンディングポジションからのスタート。

青ラインは力があればSDスタートで行けそう。



●L岩

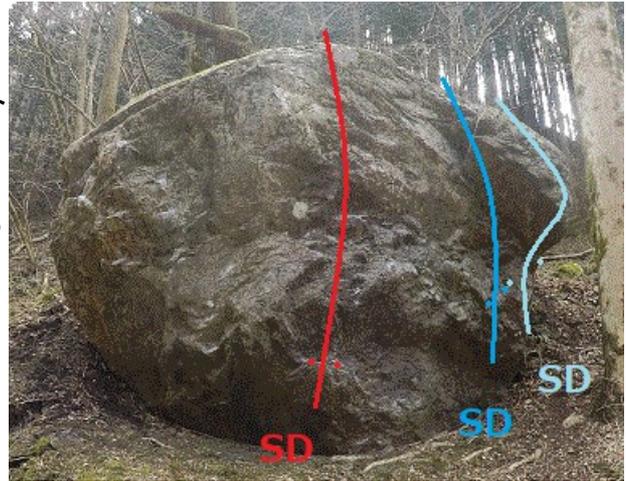
龍神淵の500m程下流の対岸(右岸)に見える目立つ岩。昔あまり興味をそそられなかったので未トライだったが、今回ちょっとトライしてみた。

目立つ岩なのでやはり既にトライした人がいて、後の太い木に掃除用のスリングが巻き付けてあった。トライを迷ったが、岩も汚れて苔も発達してきたので軽く掃除をしトライさせてもらった。

赤ラインは苔の付きが少なかったのが既に登られている可能性あり。

左側も登れそうなので上部の浮石を落としたが、SDスタートに良いホールドがなく適当なホールドからのトライを始めた。直後、地面から蚋が一気に湧き出てきて刺されてしまい堪らずトライを中止した。ランディングも悪いので落ちたら下の川原まで転がり落ちそうなので注意が必要である。

対岸に渡るには水量が多いと渡渉となるので長靴があると良い。



●M岩&N岩

土砂に半分埋まってしまいトライ不可能。

●O岩(右は昔登った時のトポ)

さらに下流の林道が切通しになり、谷が大きく屈曲する所の右岸に見える岩。

ハング部分にもう少し良いホールドがあれば良いのだが、今ある課題はあまり面白くない上に、岩上の苔が発達している。

